

石神井東小学校の〔生活のきまり〕について

本校では、集団生活における基本的な生活習慣の育成及び児童の安全を確保するために、下記に示すきまりを設けて指導に当たっています。ただ、学年が進むにつれ、忘れがちになっている点も見られます。つきましては、改めて趣旨をご理解の上、ご家庭でもご協力くださいますようお願いいたします。(変更点がありますのでご覧ください。)

1 登下校について

- (1) 集団登校をします。(地区班の集合時刻に遅れないようにしてください。)
- (2) 登校時刻は、8時05分～8時15分です。
- (3) 登校中、忘れ物があることに気付いても取りに戻りません。
- (4) 登下校の際は、校帽をかぶります。
- (5) 決められた通学路を通ります。

2 欠席・遅刻の連絡について

- (1) シグフィーで連絡してください。
- (2) 遅れて登校する場合は、安全上、必ず保護者が付き添ってください。

3 早退の連絡について

- (1) シグフィー等で担任に伝え、保護者のお迎えをお願いいたします。
(電話での依頼、児童だけでの早退は、安全上認められません)
- (2) けがや病気等が生じた場合は、学校からご連絡します。

4 休み時間について

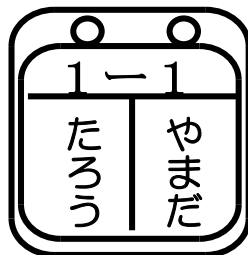
- (1) 雨の日以外は、校庭で外遊びをします。割り当てになっている学年は、体育館で遊べます。
- (2) 雨の日は、教室で静かに工夫して過ごします。(家から遊び道具は持ってきません。)
- (3) 駐車場、石畳、建物の裏(校舎、体育館、体育倉庫、学童など)では遊びません。

5 持ち物の記名について

- (1) 鉛筆、消しゴムなどの学用品や、上履き(学校で過ごすために適切なものであれば指定はありません)、傘、服など、持ち物や身に付ける物全てに「学年・組・氏名」を書いてください。

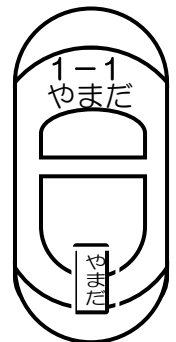
右側：名字

左側：名



1学期間着用し、その後学校で保管し、必要に応じて着用します。
※名札の交換や名札の用紙だけが
必要な場合は、担任へ申し出てください。

前側：年組
名字



後側：名字

6 校庭開放について

- (1) 自転車では来てはいけません。
- (2) 食べ物や飲み物を持ってきてはいけません。(水筒は可)

曜日/月	3月～10月	11月～2月
月～金	午後3時半～5時	午後3時半～4時30分
	※長期休業期間は午前10時～12時 午後1時～5時	
土	未定	未定

7 その他

- (1) 「声に出して読みたい〔みんなのやくそく〕」を守って生活します。
- (2) 体育を見学するときは、必ず理由等を連絡帳に書いて担任に知らせてください。
- (3) 子供だけで遠出したり、ゲームセンターへ行ったりさせないでください。
- (4) エアガン等の危険な玩具については、保護者の責任のもとで安全に注意して遊ぶようにご指導ください。

<持ち物について>

学習用具について

全学年共通

- シャープペンシルは使用しない。
- 不必要な数、物を持ってこない。
携帯電話等は持たせないでください。（防犯ベルの機能以外のものはやめてください。）
- 筆箱は、道具箱に入る大きさの物を使う。※箱形で鉛筆がきちんと整理して入れられる物
- ランドセルのフックには、余計なものは付けない。※給食袋（マスク・ハンカチ）、防犯ブザーは可
- 全ての持ち物に必ず記名をする。
- 移動ポシェットを使用する場合は、安全のため、ショルダー紐の使用は避け、クリップをお使いください。

【筆箱の中身】

全学年共通

- 鉛筆5本（低：2B以上 中、高：B以上）
- 赤と青の鉛筆各1本
- 消しゴム1個（シンプルなもの、本体にも記名）
- 油性ペン1本
- 定規（15cm程度） ☆10cm～
※1年生は定規無し、2年生は使用する時期になってから入れる。
※折りたたみ式定規は禁止。

【道具箱の使い方】

低学年

- 右
・タブレット、（ドリル、下敷き）
- 左（学校に置いておく）
・色鉛筆、クレパス、はさみ、のり
- 手提げ
・教科書、ノート

中学年（低学年に加えて）

- ☆三角定規、分度器（使用時期になってから入れる。）
- ※クレパス無し

高学年（中学年に加えて）

- ☆算数セット（三角定規、分度器、コンパス）

体育着について

- 袋に体育着、短パン、紅白帽、必要に応じて汗拭きタオルを入れる。
- 体育着
内側のタグの部分に記名してください。胸の部分に白い布をつけ記名することは行いません。
- 寒くなってきたときには、
トレーナーなど（チャック、フードのないもの）を体育用に準備して、上から着てもかまいません。
※着てきたものを上から着ないようにしてください。
1月から3月に限り、長ズボン（ジャージ）の着用も可能です。（ドローコード、チャック、ボタンのないもの）
- 体育着の下に着る肌着等については、衛生面健康面を考慮して、速乾性、抗菌の衛生的な機能のあるものを利用するか、体育の後に着替えるようにしてください。体育着の下にタイツは着用しないようにしてください。